

安全データシート

Section1 製品及び会社情報

製品名	マグネットシート 大判
会社名	株式会社MonotaRO
住 所	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当部門	商品お問い合わせ窓口
電話番号	商品部 商品開発室
ファックス番号	0120-443-509
緊急連絡電話番号	0120-289-888
整理番号	M220905

Section2 危険物の要約

GHS 分類	
分類基準に該当しない	
本製品は成成品であり通常の取り扱いにおいて固体以外の状態にならず、SDS の作成が必要な化学製品には該当しない。	
危険有害性情報	GHS分類にはないが、加工等で生じる粉塵や微粉末が肺に吸入されると塵肺等の障害が生じる可能性がある。

Section3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
成分名	ストロンチウム・フェライト 塩素化ポリエチレン ポリ塩化ビニル樹脂混合物
労働安全衛生法	非該当
化審法	非該当
PRTR法	非該当
毒劇物取締法	非該当
その他、企業秘密の為、明記しない。	

Section4 応急措置

吸入した場合	一般的な使用の元では該当せず。但し、加工により発生するガス・粉塵を吸い、気分が悪くなった場合は新鮮な空気の場所に移し、回復を待つ。状況によっては医師の診断を受ける。
--------	--

皮膚に付着した場合	一般的な使用の元では該当せず。但し、溶融物の場合、直ちに清浄な水で冷やす等、一般の火傷と同様に処置する。通常の場合は、清浄な水、又は石鹼水で洗浄する。
眼に入った場合	破片・粉塵が眼に入った場合、眼をこすったりせず、直ちに清浄な水で洗眼する。異物感がある場合、異物感がなくなるまで十分に洗眼し、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	破片・粉塵などを飲み込んだ場合、水を飲み嘔吐させた後、医師の診察を受ける。

Section5 火災時の処置

消火方法	水、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂を用いる。
消化剤	水、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
その他	消火作業を行う際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な保護衣を着用する。

Section6 漏出時の処置

人体に対する注意事項	本製品は磁力線が発生しているので、ペースメーカーを使用している人には近づけないよう特に注意して下さい。
環境に対する注意事項	密閉容器に回収し、産業廃棄物として処理する。 粉末・粉塵等は、後述の廃棄上の注意に従い廃棄する。
除去方法	固体のため特別な措置は不要。こぼれた場合は容器に回収する。ただし、加工等により発生した微粉末は吸入しないよう十分な換気を行い、保護具の着用の上除去して下さい。

Section7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	加工時は、長袖・長ズボン・保護手袋等の保護具を必要に応じて着用すること。 磁気製品(磁気カードや磁気テープ等)を傍に置かないこと。 火気などの着火源を近づけないこと。
保 管	直射日光を避け、高温多湿下での長期保管は避ける。 熱・発火源から離れた場所で保管する。

Section8 暴露防止及び保護措置

設備対策	該当せず
許容濃度	該当せず
管理濃度	該当せず
保護具	長袖・長ズボン・手袋等、必要に応じ着用する。
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。

Section9 物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状	固形物
臭い	なし
沸点	—
軟化点	80～120℃
引火点	PVC において 300℃以上。その他、非該当。
爆発特性	—
可燃性	300℃以上で相当時間空气中に暴露すると、燃焼することがある。その際、塩酸ガスが発生することがある。 また着火源があれば、PVC フィルムにおいて可燃性あり
発火性	400℃以上の温度で発火することがある。
溶解性	水に溶解せず。

Section10 安定性及び反応性

安定性	通常の実取扱いでは安定。
反応性	通常の実取扱いにおいて反応なし
避けるべき条件	高温下にするこた。
混触危険物質	酸や揮発性の高い溶剤等
危険有害な分解生成物	知見なし

Section11 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	マグネット部として：呼吸器感作性のデータなし、皮膚感作性は指などに反復して擦ると油脂分が取られ、赤く切れる場合がある。 その他の成分：データなし

生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性 －単回暴露	データなし
特定標的臓器・全身毒性 －反復暴露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

Section12 環境影響情報

水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

Section13 廃棄上の注意

法律(廃掃法)に従い、都道府県の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

Section14 輸送上の注意

注意事項	運搬に際しては、転倒、落下などないように積み込み、荷崩れなどでケガなどないように防止対策を確実に行う。 着磁品を航空輸送する場合は、IATA(国際航空運送協会)危険物規則に従い、取扱い下さい。
国連番号	—
国連分類	—

Section15 適用法令

- (1)廃棄物の処理及び清掃等に関する法律(廃掃法)
- (2)化学物質の審査及び製造時の規制に関する法律(化審法)
- (3)労働安全衛生法(安衛法・通知)
- (4)その他、お使いの地域における地方条例等の法規制等にも注意が必要。

Section16 その他の情報

引用文献

自社データ

化学物質総合情報提供システム(製品評価技術基盤機構 NITE)

JIS Z7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、

作業場内の表示及び安全データシート(日本規格協会)

GHS 分類ガイダンス(経済産業省)

職場のあんぜんサイト(厚生労働省)

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 5 版(経済産業省)

記載内容の取扱い

- ・ 現時点で入手し得る資料、情報、データに基づいて JIS Z7253:2019 に準拠するように作成したのですが、その内容の厳密性について責任を負うものではありません。
- ・ 記載内容は通常の取り扱いを前提としたもので、特殊な取り扱いの場合には、用法、用途に適した十分な安全・環境対策を講じた上でご使用下さい。
- ・ この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い致します。